

あいにくの雨の中、草木染に使うドクダミの葉を取る子どもたち。14日、福井市中手町。



# 自然舞台に児童交流

## 美山の3小 宿泊学習

### 23人、草木染材料を採取

福井市美山地区3小学校の児童が合同で自然体験を行う宿泊学習が14日、同市中手町の上味見生涯教育施設で始まった。1泊2日の日程で、豊かな自然を舞台にグループワークや夕飯作りなど共同生活を楽しみ、交流を深める。

同市美山、東郷両地区の住民団体とNPO法人「自然体験共学センター」が3月に設立した「福井市自然体験交流推進協議会」が受け入れた。美山啓明、下宇坂、羽生の3校の4年生計23人が参加した。

児童たちは簡単なゲームを通して自己紹介した。山に設けたツリーハウス後、同施設周辺や近くの

を着た児童たちは、草木染に使うドクダミの葉を集めるなど元気いっぱい走り回っていた。アマガエルやカタツムリを捕まえて喜ぶ姿も見られた。美山啓明小の大森太平

15日は竹を使った工作などを行う。